

投資と併せて保険見直し

4年で契約1500件超え

日本財託

東京23区の中古マンション投資を手掛ける日本財託（東京都新宿区）が不動産投資と併せて提案

している生命保険の累計契約件数は7月末時点で1569件となった。2014年6月に生命保険の代理店事業を開始して4年で加入件数が150

0件を突破した。

収益不動産をローンで購入すると、団体信用生命保険（団信）が付帯するのが一般的。通常の死亡保障の保険に加入している場合、保障内容が重複するため、購入のタイミングで保険を見直すオーナーも多い。

同社ではオーナーや家族を中心に資産形成の進め方やライフプランに合わせた保険を提案する。13社の保険商品を取り扱っており、キャッシュフローの有効活用、控除枠

を活用した節税、資産形成途中での病気・ケガ・就労不能や介護などのリスクヘッジ、相続対策などニーズに応じた提案ができるようにしているという。

同社が扱う生命保険の加入で最も多いのは医療保険の29%。次いで個人年金保険の26%、外貨建て終身保険の12%の順となっている。

して、病気やケガに備えた医療保険を契約することを勧める。

個人年金保険については生命保険料控除の枠を活用するほか、不動産ローンを繰り上げ返済する原資として利用するケースも増えている。

外貨建て終身保険では、かけ捨て型から終身保険への見直し相談も多いという。死亡保障に加えてガンなどになった際に保険金の一部支払われるものや、外貨建ての保険契約が増えている。